

ま ち の 話 題

豊岡

ここのとり少年野球交流大会 一つのプレーが生み出す 交流の輪!!



▲練習の成果を発揮しようと、精一杯のプレーをする子どもたち

5月4日、第8回ここのとり少年野球交流大会が円山川運動公園（土淵）で開催され、市内外から小学生約600人が参加しました。この大会は、野球を通じて、さまざまな地域の子どもたちが交流することを目的に始まったもので、今回出場した30チームのうち、17チームが市外からの参加でした。勝敗だけを競うのではなく、お互いのプレーを認め合う中で、交流の輪が広がっていきます。大会に参加した八条小学校6年の西谷優宏くんは、「日ごろ対戦することができない遠い地域のチームと交流ができ、とてもいい経験ができた」と話していました。

城崎

ジャズ in 薬師堂

幻想的な演奏に陶酔!!

5月6日夜、温泉寺薬師堂（城崎町湯島）でジャズコンサートが開催されました。

境内は、ライトアップされた薬師堂とジャズ演奏との融合が醸し出す幻想的な世界に包み込まれていました。

ボーカルのナンディーさんらは「こういう場所での演奏は初めて」と緊張しながらも「アメイジング・グレイス」「上を向いて歩こう」など聞き覚えのある歌をジャズ風に歌いこなしていました。また、豊岡高校の生徒が楽器演奏で会場を盛り上げるなど、集まった約150人の観客は、時の経つのも忘れるほどに陶酔していました。



▲薬師堂でのジャズ演奏という不思議な雰囲気にも包まれた温泉寺境内

竹野

くろそんぶつ 狗留尊仏まつり 大切に守り受け継いでいく 地域の宝



▲狗留尊仏をお参りする人々。このまつりに合わせて毎年「しめ縄」も新調されている

4月26日、悪天候の中、第19回狗留尊仏まつりが竹野町床瀬の狗留尊谷入口から区の公民館に変更して行われました。狗留尊仏とは、古くから蚕の神様として奉られてきた巨岩のことです。この岩のかげら身をつけた人が子宝に恵まれたことから、現在では子宝の神様としても奉られています。会場では、おでん・おにぎりなどの販売のほか、「子宝そば」も振舞われ、子どもから高齢者まで、多くの人々にぎわいました。「続けることが地域のため」と、悪条件でも、人々が力を合わせ、まつりを開催しました。地域固有の文化が大切に受け継がれています。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

神鍋ジュニアサッカーズプリングカーニバル

大自然に囲まれて 熱戦を展開!!

5月3日～5日の3日間、第15回神鍋ジュニアサッカーズプリングカーニバルが、県立但馬ドームを主会場として、6会場で開催され、市内外から80チーム、約1、500人が参加し、熱戦を繰り広げました。

この大会は、例年ゴールデンウィークに開催される恒例の大会で、神鍋高原の大自然に囲まれ、民宿に宿泊するなど、普段は味わえない仲間との交流を楽しむことができます。大会は、初日の予選の成績に応じてA～Cの3グループに分けて決勝トーナメントが行われ、会場は、応援に駆けつけた保護者らの熱い声援に包まれていました。



▲真剣にボールを追う選手たちに観客は釘付け

出石

谷山川柳降り口・八つ橋完成記念式 まちの顔 大好き 谷山川 住民の想いが結実

5月10日、県と住民との協働事業「谷山川共生プラン」交流・親水エリア整備の一つである八つ橋の完成式が行われました。

谷山川(旧出石川)は、かつて川幅は現在の3倍以上広く、年貢米輸送などの川舟交通路であり、柳区のこの場所は旧船着場でした。

当日は、参加者全員で川の清掃を行った後、式典が始まり、テープカット、橋の渡り初めに続き、整備したビオトープに子どもたちがドジョウ、カワニナなどを放流しました。

谷山川を育む会会長の足田茂樹さん(出石町東條)は、『今後も毎月10日の「まもり隊」の清掃活動が続き、ここが子どもたちの遊び場や散策路になってほしい』と話しました。



▲八つ橋をうれしそうに渡る子どもたち

但東

親子遠足

オオサンショウウオが すんでいるんだね

5月1日、合橋保育園の親子遠足が行われ、37組の親子が参加しました。

遠足は、たんとうシルクドーム(但東町正法寺)と出石川のオオサンショウウオの巣穴(但東町平田)の間、往復約1・2キロメートルで、親子は、巣穴を目指して歩きました。巣穴に到着し、オオサンショウウオを探しましたが、見つかりませんでした。しかし、市のマスコットキャラクターのコーちゃんとおーちゃんがやって来たので、園児たちは、大喜びで、声を上げたり、触ったりしていました。

地域を歩くことで、地域の自然を知り、親子でふれあう楽しい遠足となりました。



▲コーちゃんとオーちゃんとふれあう園児たち